

+laughイナギ_支援プログラム

2025年1月作成



日常生活の景色を多様にする

事業所情報

事業所名 +laughイナギ(アンドラフ)

運営法人 稲城市

指定管理 一般社団法人Life is

法人理念(ビジョン) 「日常生活の景色を多様にする」

営業時間 9:30-17:00

送迎体制 あり(稲城市及び隣接する自治体)

目指す未来

VISION.

『日常の景色を多様にする』

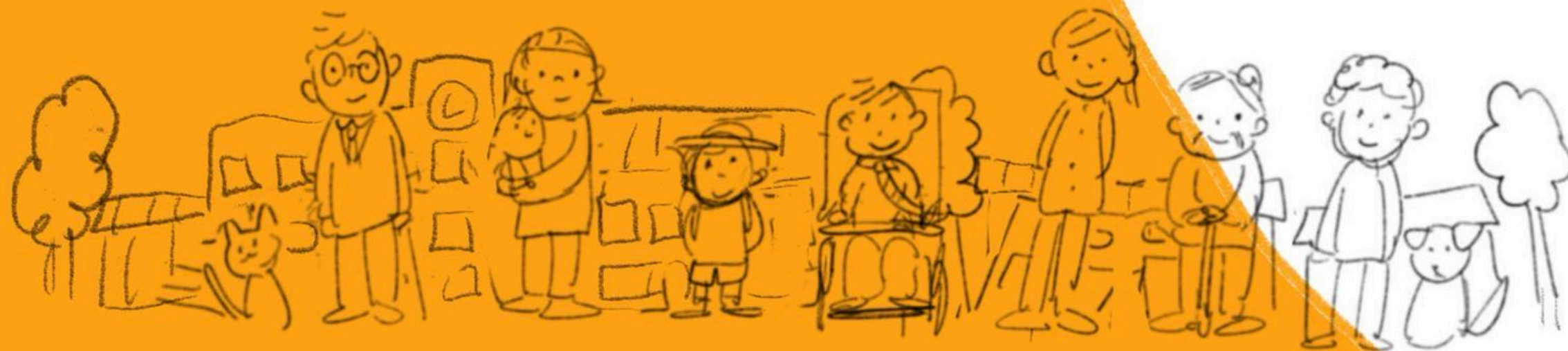
果たす役割

MISSION.

ライフイズに関わる全ての人の

「自己実現」と「笑顔で豊かな地域生活」に貢献し続ける。

個人と地域が繋がり、対等な市民となるきっかけを提供し続ける。



提供する価値

VALUE.

社会の価値に対する貢献を行っていく。

個人に対する価値

機能不全を抱える方の
心身状態の安定、
地域生活の基盤や
関係性の構築を
行っていきます。

場としての価値

多様な人が
自分なりの姿で
与え合いながら
過ごし続けられる
場や地域を
生み出していきます。

地域づくりへの価値

地域で自然な交流が
生まれる場として
会社を開き、
全ての人に関わりしるを
作っていきます。

支援方針

重症心身障害児者や医療的ケア児者に対して、家庭とは異なる時間・空間・人・体験等を通じて、個々のご利用者様の状況に応じた関わりを行うことにより、ご利用者様の最善の利益の保障と権利の主体としての地域生活を営んで頂く。

福祉を地域に開く取り組みにより、自然な形で地域に溶け込んでいけるように多様な方が行きかう場づくりを行う。

ジューススタンドや駄菓子屋をきっかけに、日常的な地域との交流を行う事で「障害者-健常者」「利用者-支援者」という関係性を「対等な市民同士」に紡ぎ直す。

ご本人様支援-①健康・生活-

ご利用者様が主体となり、全身状態を安定させ、ご自身なりの生活を営んで頂けるように、看護師や保育士、リハビリ専門職などの医療・福祉の専門職をバランスよく配置します。

また、人工呼吸器や経管栄養・喀痰吸引などの医療的ケアの必要な方であっても、安心して豊かな生活を送って頂けるように、平時からの状態観察を行うと共に、スタッフ間の情報共有・連携を図っていく中で、小さな変化を見落とさずに、大きく体調を崩すことなく、在宅生活を維持できるような対応を行います。

ご本人様支援-②運動・感覚-

ご本人様のご自身なりの運動パターンを活用していく中で、生活の中で自分自身が主体となり過ごしていけるような運動発達を目指していきます。また、拘縮・変形予防や感覚統合を行うために、リハビリ専門職が中心となりストレッチやマッサージ及び感覚入力等を実施していきます。

ご本人様が活動に参加し易い姿勢を検討すると共に、多様な姿勢で過ごしていける様に、ポジショニングやシーティングについて、全職員で連携を図りながら取り組んでいきます。

ご本人様支援-③認知・行動

事業所内での活動や地域住民との関わり合いの中で、ご本人様自身が社会や他者に対しての認知・理解を深め、自らの働きかけにより、外界が変化し応答するという体験を積み重ねられるような関わりを行っていきます。

また、社会の中で役割を持ちながら過ごして頂く事で、社会の中での自身の存在を認識していくと共に、「わかる」「できる」といった中で、権利の主体として行動していく事を共に実践していきたいと考えております。

ご本人様支援-④言語・コミュニケーション-

ご本人様が訴えていることやコミュニケーションの方法について情報収集を行っていくと共に、客観的な情報を積み重ねていく事で、ご本人様の理解に努めていきます。

また、ICT機器の活用も進めていく中で、言語でのコミュニケーションが難しい方であっても代替的にご自身の意思を表出する方法を検討していきます。

「意思形成」「意志表出」に関わる援助を丁寧に行っていく先にある、ご本人様自身が「自己決定」していくプロセスを大切に関わりを深めていきます。

ご本人様支援-⑤人間関係・社会性-

ジューススタンドや駄菓子屋などの居場所運営をご利用者様と共に行っていくことで、多様な人間関係の中で、社会性を育める関わりを行っていきます。

また、社会の中で安心して自分なりの生活を営むと共に、発達していくという事が保障されるように、地域住民や行政機関、及び近隣の民間企業等とのネットワーキングを行っていくことにより、福祉を地域に開いていく営みの中で、ご本人様が社会の一員であるという認識を育んでいける様に取り組んでいきます。

ご家族様支援

ご家族様の育児及び介護負担を少しでも軽減させて頂けるように、ご利用時間やご利用方法について可能な範囲で配慮させて頂きます。また、ご兄弟との時間を大切に出来たり、ご兄弟自身が孤独感を感じないように、きょうだい児支援についても取り組んでいきたいと考えております。

ご家族様が孤立しないように、保護者同士のネットワーキング支援を行うと共に、相談体制も構築していきます。

移行支援

保育園や学校との連携を図っていくと共に、保育士や保育園看護師及び学校職員に対しての研修や周知活動も実施してまいります。

常日頃より、様々な関係機関との関係性を構築していくと共に、日々の活動においても市内施設(児童館・図書館など)を活用していく中で活動自体を地域に開いてまいります。

ライフステージの変化が急激なものにならない、グラデーションになり、ご本人様もご家族様も事業所側も負担感を感じない様な取り組みを目指してまいります。

地域支援・地域連携

福祉を地域に開く取り組みを進めていく中で、地域との連携を図っていきます。

事業所内に様々な地域住民が関わりを持てる関わりしるを多く置いておき、自身のタイミングで関わりを持って頂く事で、自然な形で関係性を育める準備を行っていきます。

また、地域住民に対しての発信・啓発活動も行っていく事で、双方向性のある形で地域との関わりを持っていきたいと考えております。

職員の質の向上

- ・ 医療面や介護面の知識及び理解の向上を目的とした社内研修の開催及び社外研修への参加推奨
- ・ 社外研修の研修費用助成
- ・ チームビルディングの研修を通じた、組織全体の質の向上
- ・ 正しいサービス提供に向けた制度理解

などを全職員に対して実施していきます。

主な行事等

- 20歳を祝う会
- 卒所式
- 稲城市障害者美術展
- 保護者懇談会
- ハロウィン
- ラフな食卓

など